

昨年の園便りでは、熱中症を心配するほどの連日の猛暑で活動を抑えていること、毎日のプール遊び、早朝のホームクラスの子が、カブト虫捕りに走る姿が書かれていました。

今年はジメジメと長雨が続き、梅雨寒に風邪を引く子も増えて、折角のプールも雨水を溜めるだけで活用ができませんでした。それでも雨の合間に、長靴でサッカー、鬼ごっこ、ザリガニやカタツムリ捕り、園外の探検に興じました。

夏空を待てないカブトやクワガタも出てきました。梅雨が明けです。年長さんのお泊り保育頃には、夏の太陽が出てくることを祈ります。

夏の沢山の楽しい思い出を作ってあげてください。毎日、絵本を読んであげてください。一回り大きくたくましく成長するのを楽しみにしています。



行事予定表		
1	木	子育てサロン
2	金	生活写真撮影(0・1・2歳児)
5	月	プール写真撮影
6	火	交通安全教室(2歳児以上) ピヨピヨひろば
7	水	読み聞かせ/救命講習会
13	火	希望保育日
14	水	希望保育日
15	木	希望保育日
22	木	誕生会
23	金	避難訓練
26	月	4歳児視覚検査(13:00~)
30~31	金~土	お泊まり保育

夏祭りへの

協力有難うございました。



先日は、ぞうグループの太鼓やお神輿担ぎ、盆踊り、出店等、保育園の夏祭りを楽しんで頂けましたか。1ヶ月位前から和太鼓演奏、神輿担ぎや盆踊りを園全体で楽しんできましたが、夏祭り当日は緊張している様子やお家の方と離れられない姿もありましたが、当日までの経過と今後の経験がとても大切だと考えています。行事はあくまでも通過点に過ぎません。そして、何よりお家の方との楽しい時間を共有出来た事を幸せに感じます。今回夏祭りを開催するにあたり、役員の方々やご協力頂いた方々、本当にありがとうございました。

今月の予定の中心が

●交通安全教室(6日)

今月から2歳児も交通安全に参加します。今回は、防犯がテーマです。DVDで分かりやすく教えて頂きますが、買い物やレジヤーの際はお子さんから手と目を離さないようにとご家庭でも話してくださいね。

●読み聞かせ(7日)

午睡をしていない5歳児対象に、指導員の宮本先生と栗山先生に絵本や紙芝居を読んで頂いています。子ども達は「もう1さつよんで」とおねだりをしてなかなか終わることが出来ない位大好きな時間となっています。今月はお化けの話かも知れませんね。

●保護者会主催の救命講習会(7日)

牛久消防署の方々が講師として来て下さいます。参加者も20名以上集まり、有意義な時間となる事と思います。命の大切さを再確認していきます。

●誕生会(22日)

今月のお楽しみは「パネルシアター」です。子ども達がお話しの世界を楽しめるように先生達も張り切っています。

●4歳児視覚検査(26日) 13時

市役所保健センターの方と茨城メディアルセンターの方が見え、4歳児が視力検査を受けます。当日は必ず出席して下さい。(目の異常を早期発見する機会になります。)

●お泊まり保育(30~31日)

ぞうグループの子ども達が4月の進級当初から楽しみにしていたお泊まり保育がいよいよ今月末となりました。現在、子ども達が話し合いをしながら、食事の内容や役割を決めている所です。子ども達自身が決めた事に責任を持ち、それぞれが取り組めるように出来たらと考えています。今後も、楽しく思い出に残る行事となるように子ども達と計画していきます。

★お願い・★お知らせ



★やつと梅雨も明け、色水遊びや泥あそび、泡遊びなど・夏を満喫する遊びを沢山行う予定でいます。時には泥や絵の具がつくこともありますので、保育園には汚れても構わない服装で登園して下さい。洗濯も大変かと思いますが、沢山遊んだ証拠と大目に見て下さい。

☆希望保育(13日・14日・15日)は利用希望を出された方のみとなります。詳細は先日利用希望の方へお渡しした手紙を確認して下さい。

☆7月に調理補助の青山添未さんが退職して、その後を高橋浮千古さんが勤務することになりました。宜しくお願いします。

☆7月の園便りの中で「真偽の程」を打ち間違え「真意の程」としてしまいました。訂正してお詫びします

昭和、夏の思い出

8月は、お休みが続いて取れる事も多く、実家へと帰省したり、レジャーに出掛けたり、大人も子どもも楽しい事が沢山ありそうですね。

私事ですが、母の実家が香川県善通寺(弘法大師の誕生地)にあり、小学生の頃は夏休みに帰省をしていました。母の実家は小さな旅館をしていました。帰省すると祖父に、まずご先祖様にお線香をあげなさいと言われ、「チーンチーン」とおりんを鳴らしました。いつも背筋が伸びしゃんとしている祖父が私にはちよつと苦手な存在でした。そんな祖父はパンツではなくふんどしをつけていて、帰省する際に必ず母が「ふんどしは売ってないからね」と言つて何枚もふんどしを縫っていました。お風呂は薪の風呂で、祖父が外で薪をくべ火加減を調整してくれました。浴槽の中には板がありその上に足から入ると、湯の熱いこと熱いこと「熱い」と言えず、とにかくじつと我慢して入っていました。そして、夏休みとは言え、毎朝朝寝坊は許されず、祖父と、裏山に虫取りや伽藍(がらん)まで朝の散歩をしてから、朝食を食べました。年の近い従兄弟が居るときは、お客様用の布団部屋で暴れて遊んで階段から転げ落ちてしまうような悪さもしました。夏が終わる頃には身体の前後が判別しないぐらい真っ黒で男の子の様でした。8月のお休みは、普段とは異なる経験が出来るチャンスが沢山あります。年上の方と関わる時間から学ぶこと、そして、お子さんとの共有する時間を過ごす楽しみがありますね。夏に様々な体験をして大きく成長する子ども達の姿を身近に感じられる事を幸せに思います。

園長 浅沼 玲子

